

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	25	国民健康保険	事業コード	35678
事業名	特定保健指導費					
評価担当課	所属名	保)保険医療部 保険企画課				
	課長名	山本 慶一	担当者名	石川 予維	電話番号	011-211-2887
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	国保被保険者の内臓脂肪型肥満の要因となる生活習慣が改善する			
		長期	国保被保険者における内臓脂肪症候群の該当者及び予備群の減少			
	取組内容	平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、各医療保険者に対して、生活習慣病予防を目的とした特定健診及び特定保健指導の実施が義務付けられた。この特定保健指導では、特定健診の結果から生活習慣病の発症リスクに応じ対象者を抽出(国基準)し、生活習慣を改善するための行動変容を目指す、動機付け支援(原則1回の支援)又は積極的支援(3か月以上の継続的な支援)を実施するものであり、区保健福祉部の保健師・管理栄養士による保健指導の実施に加え、外部委託も併用している。				
	実施結果	・各区及び実施機関(55機関)で特定保健指導を実施。				
事業実施における工夫点	・特定健診受診後早期に面接につなげることができる初回面接分割実施を行う住民集団健診会場を150箇所増やした。 ・若い世代の利用につながる手法として、ICT機器活用型特定保健指導を試行実施した。					
対象者	40歳から74歳の札幌市国民健康保険被保険者	開始	平成20年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	高齢者の医療の確保に関する法律第19条、第24条及び第25条					
他都市の状況	法により義務付けられている事業であることから、全市町村で実施する。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	35,961	64,927	37,625	61,711	
うち特定財源	35,961	64,927	37,625	61,711	
人工	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費	0	0	0	0	
計(事業費+人件費)	35,961	64,927	37,625	61,711	
事業費の内訳	令和3年度決算	保健指導人件費:17,159千円 特定保健指導・運動お試し券配布:10,226千円 郵送料・帳票・封筒等:2,805千円 システム保守等:2,559千円 保健指導教材・会議経費等:4,876千円 ※特別会計の事業のため、職員の人件費は事務費に含まれる。			
	令和4年度予算	保健指導人件費:22,137千円 特定保健指導:18,874千円 郵送料・帳票・封筒等:5,870千円 システム保守等:5,559千円 保健指導教材・会議経費等:9,271千円 ※特別会計の事業のため、職員の人件費は事務費に含まれる。			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	特定保健指導実施率		
活動指標2		指標名			
成果指標1		指標名			
成果指標2		指標名			
項目	判定	理由			
活動指標1		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		9.10%	17.00%	集計中	21.00%
活動指標2		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	特定保健指導利用者については、終了時に身体状況の変化、生活習慣病の改善効果が見られ、利用者も満足度が高い。事業の実施により、被保険者の健康増進に寄与しているが、実施率は目標に達していない。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	法により義務づけられている事業であり、対象者・実施内容を決められている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	特定保健指導の実施方法や委託料について、他都市を参考に妥当と考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	特定保健指導の利用者の結果では90%以上が満足と答えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導の実施率が低迷しており、実施率の向上が課題。</li> <li>・令和6年度からの制度改正に伴い、評価方法の変更等を踏まえて事業を整理していく。</li> </ul>				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診後早期に面接につなげることができる初回面接分割実施を行う住民集団健診会場の増加</li> <li>・特定保健指導利用につなげるための啓発等の強化</li> </ul>			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、特定保健指導の実施率が低迷しており実施率向上にむけた取組が必要である。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 特定保健指導の実施率向上に向けて、初回面接分割実施会場の増加や、利用につなげるための啓発等の強化			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 次年度も同規模を見込んでいる。			見直し効果額